

令和8年4月1日

経済学部 アセスメントプラン

アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や卒業後の自己並びに社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミッション・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができると思っているか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

アセスメントの方法

No.	名称	対象	時期・頻度	学年	主な質問項目、内容等	実施責任部署	結果の活用方法
1	演習Ⅱルーブリック	DP3	毎年度末等	卒業学年	卒業論文・卒業研究等の学修成果	経済学部各教員及び経済学部学科会議	個々の教員が評価を行い、結果を経済学部で集約し、経済学部の授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
2	卒業アンケート（全国学生調査の最終年次）	DP1～4	毎年1回	卒業学年	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の満足度	経済学部運営協議会	IR・教育支援センターが経済学部運営協議会に報告し、経済学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
3	卒業生の進路状況	DP1～4	毎年1回	卒業学年	卒業生の進路（就職率、有力企業就職率、進学率）	経済学部就職支援委員会	キャリアセンターが経済学部就職支援委員会に報告し、就職支援の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
4	卒業生調査	DP1～4	毎年1回	卒業後1年以上経過の卒業生	現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへの意見・要望	経済学部運営協議会	IR・教育支援センターが経済学部運営協議会に報告し、経済学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用

5	就職先アンケート	DP1 ～4	毎年1回	卒業生就職先 ※数名の採用実績がある企業	在籍する卒業生の活躍から、近畿大学のDP達成度や強み・弱みなどをアンケート聴取	経済学部運営協議会	IR・教育支援センターが経済学部運営協議会に報告し、経済学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
6	学部長会談	CP/D P1～4	毎年1回	学生代表者	学修行動、授業・カリキュラム満足度 学生生活に関する要望等	経済学部運営協議会	経済学部で実施後に学生部で報告書を集約【学修行動、授業・カリキュラム満足度に関する意見】 IR・教育支援センターに連携し、その内容をもとに授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用 【学生生活に関する要望】 経済学部運営協議会にて内容を精査し、学修・生活環境の改善、自己点検・評価に活用
7	学修振り返りアンケート	CP	每学期1回	全学年	学修行動、授業の理解度、学修到達目標達成度	経済学部FD委員会	経済学部FD委員会が経済学部実施分の結果を集計し、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用。IR・教育支援センターが全学部分の結果をとりまとめ
8	成績不振学生、休退学の調査	CP	每学期1回 (成績不振)、随時 (休退学)	全学年	学業不振の状況 (GPA、修得単位数、留年者数)、休学者数、退学者数	経済学部各教員及び経済学部学生委員会	経済学部が経済学部学生に対する面談を実施し、修学及び学修支援、自学部のカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
9	全国学生調査 (2年次)	CP	毎年1回	2年生	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の印象	経済学部運営協議会	IR・教育支援センターが経済学部運営協議会に報告し、経済学部の授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
10	GPS-Academic (3年次を基本)	CP	毎年1回	原則3年生	学修行動、授業・カリキュラム満足度	経済学部運営協議会	経済学部から依頼を受けた委託業者が経済学部運営協議会に報告し、全学的なキャリア支援、経済学部の授業方法やカリキュラム改善、学修支援や低学年時における学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
11	学生生活実態調査	CP	隔年9～10月頃	全学年	学生生活、課外活動の経験、学修行動、大学に対する評価	経済学部運営協議会	学生部が経済学部運営協議会に報告し、経済学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用

12	入学試験	AP	毎年	入学志願者	大学での学修に必要な基礎学力	経済学部執行部会	入学センターが経済学部執行部会に報告し、入学試験の改善、入学者の現状把握に活用
13	GPS-Academic (1年次)	AP	毎年4~5月頃	1年生	本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路	経済学部運営協議会	経済学部から依頼を受けた委託業者が経済学部運営協議会に報告し、入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、自己点検・評価、情報公開に活用
14	英語プレースメントテスト	AP	毎年	1年生	TOEIC Bridge テスト	経済学部教務委員会外国語分会	経済学部教務委員会外国語分会が入学時点の英語習熟度を把握し、習熟度別語学教育のクラス分けに活用

以上

令和8年4月1日

経済学部経済学科 アセスメントプラン

アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や卒業後の自己並びに社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミッション・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができると思っているか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

アセスメントの方法

No.	名称	対象	時期・頻度	学年	主な質問項目、内容等	実施責任部署	結果の活用方法
1	演習Ⅱループ リック	DP3	毎年度末等	卒業学年	卒業論文・卒業研究等の学修成果	経済学部各教員及び経済学部学科会議	個々の教員が評価を行い、結果を経済学部で集約し、経済学部の授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
2	卒業アンケート（全国学生調査の最終年次）	DP1 ～4	毎年1回	卒業学年	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の満足度	経済学部運営協議会	IR・教育支援センターが経済学部運営協議会に報告し、経済学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
3	卒業生の進路状況	DP1 ～4	毎年1回	卒業学年	卒業生の進路（就職率、有力企業就職率、進学率）	経済学部就職支援委員会	キャリアセンターが経済学部就職支援委員会に報告し、就職支援の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
4	卒業生調査	DP1 ～4	毎年1回	卒業後1年以上経過の卒業生	現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへの意見・要望	経済学部運営協議会	IR・教育支援センターが経済学部運営協議会に報告し、経済学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用

5	就職先アンケート	DP1 ~4	毎年1回	卒業生就職先 ※数名の採用実績がある企業	在籍する卒業生の活躍から、近畿大学のDP達成度や強み・弱みなどをアンケート聴取	経済学部運営協議会	IR・教育支援センターが経済学部運営協議会に報告し、経済学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
6	学部長会談	CP/D P1~ 4	毎年1回	学生代表者	学修行動、授業・カリキュラム満足度 学生生活に関する要望等	経済学部運営協議会	経済学部で実施後に学生部で報告書を集約【学修行動、授業・カリキュラム満足度に関する意見】 IR・教育支援センターに連携し、その内容をもとに授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用 【学生生活に関する要望】 経済学部運営協議会にて内容を精査し、学修・生活環境の改善、自己点検・評価に活用
7	学修振り返りアンケート	CP	每学期1回	全学年	学修行動、授業の理解度、学修到達目標達成度	経済学部FD委員会	経済学部FD委員会が経済学部実施分の結果を集計し、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用。IR・教育支援センターが全学部分の結果をとりまとめ
8	成績不振学生、休退学の調査	CP	每学期1回 (成績不振)、随時 (休退学)	全学年	学業不振の状況 (GPA、修得単位数、留年者数)、休学者数、退学者数	経済学部各教員及び経済学部学生委員会	経済学部が経済学部学生に対する面談を実施し、修学及び学修支援、自学部のカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
9	全国学生調査 (2年次)	CP	毎年1回	2年生	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の印象	経済学部運営協議会	IR・教育支援センターが経済学部運営協議会に報告し、経済学部の授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
10	GPS-Academic (3年次を基本)	CP	毎年1回	原則3年生	学修行動、授業・カリキュラム満足度	経済学部運営協議会	経済学部から依頼を受けた委託業者が経済学部運営協議会に報告し、全学的なキャリア支援、経済学部の授業方法やカリキュラム改善、学修支援や低学年時における学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
11	学生生活実態調査	CP	隔年9~10月頃	全学年	学生生活、課外活動の経験、学修行動、大学に対する評価	経済学部運営協議会	学生部が経済学部運営協議会に報告し、経済学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用

12	入学試験	AP	毎年	入学志願者	大学での学修に必要な基礎学力	経済学部執行部会	入学センターが経済学部執行部会に報告し、入学試験の改善、入学者の現状把握に活用
13	GPS-Academic (1年次)	AP	毎年4~5月頃	1年生	本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路	経済学部運営協議会	経済学部から依頼を受けた委託業者が経済学部運営協議会に報告し、入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、自己点検・評価、情報公開に活用
14	英語プレースメントテスト	AP	毎年	1年生	TOEIC Bridge テスト	経済学部教務委員会外国語分会	経済学部教務委員会外国語分会が入学時点の英語習熟度を把握し、習熟度別語学教育のクラス分けに活用

以上

令和8年4月1日

経済学部国際経済学科 アセスメントプラン

アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や卒業後の自己並びに社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミッション・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができると思っているか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

アセスメントの方法

No.	名称	対象	時期・頻度	学年	主な質問項目、内容等	実施責任部署	結果の活用方法
1	演習Ⅱルーブリック	DP3	毎年度末等	卒業学年	卒業論文・卒業研究等の学修成果	経済学部各教員及び経済学部学科会議	個々の教員が評価を行い、結果を経済学部で集約し、経済学部の授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
2	卒業アンケート（全国学生調査の最終年次）	DP1～4	毎年1回	卒業学年	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の満足度	経済学部運営協議会	IR・教育支援センターが経済学部運営協議会に報告し、経済学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
3	卒業生の進路状況	DP1～4	毎年1回	卒業学年	卒業生の進路（就職率、有力企業就職率、進学率）	経済学部就職支援委員会	キャリアセンターが経済学部就職支援委員会に報告し、就職支援の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
4	卒業生調査	DP1～4	毎年1回	卒業後1年以上経過の卒業生	現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへの意見・要望	経済学部運営協議会	IR・教育支援センターが経済学部運営協議会に報告し、経済学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用

5	就職先アンケート	DP1 ~4	毎年1回	卒業生就職先 ※数名の採用実績がある企業	在籍する卒業生の活躍から、近畿大学のDP達成度や強み・弱みなどをアンケート聴取	経済学部運営協議会	IR・教育支援センターが経済学部運営協議会に報告し、経済学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
6	学部長会談	CP/D P1~ 4	毎年1回	学生代表者	学修行動、授業・カリキュラム満足度 学生生活に関する要望等	経済学部運営協議会	経済学部で実施後に学生部で報告書を集約【学修行動、授業・カリキュラム満足度に関する意見】 IR・教育支援センターに連携し、その内容をもとに授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用 【学生生活に関する要望】 経済学部運営協議会にて内容を精査し、学修・生活環境の改善、自己点検・評価に活用
7	学修振り返りアンケート	CP	每学期1回	全学年	学修行動、授業の理解度、学修到達目標達成度	経済学部FD委員会	経済学部FD委員会が経済学部実施分の結果を集計し、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用。IR・教育支援センターが全学部分の結果をとりまとめ
8	成績不振学生、休退学の調査	CP	每学期1回 (成績不振)、随時 (休退学)	全学年	学業不振の状況 (GPA、修得単位数、留年者数)、休学者数、退学者数	経済学部各教員及び経済学部学生委員会	経済学部が経済学部学生に対する面談を実施し、修学及び学修支援、自学部のカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
9	全国学生調査 (2年次)	CP	毎年1回	2年生	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の印象	経済学部運営協議会	IR・教育支援センターが経済学部運営協議会に報告し、経済学部の授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
10	GPS-Academic (3年次を基本)	CP	毎年1回	原則3年生	学修行動、授業・カリキュラム満足度	経済学部運営協議会	経済学部から依頼を受けた委託業者が経済学部運営協議会に報告し、全学的なキャリア支援、経済学部の授業方法やカリキュラム改善、学修支援や低学年時における学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
11	学生生活実態調査	CP	隔年9~10月頃	全学年	学生生活、課外活動の経験、学修行動、大学に対する評価	経済学部運営協議会	学生部が経済学部運営協議会に報告し、経済学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用

12	入学試験	AP	毎年	入学志願者	大学での学修に必要な基礎学力	経済学部執行部会	入学センターが経済学部執行部会に報告し、入学試験の改善、入学者の現状把握に活用
13	GPS-Academic (1年次)	AP	毎年4~5月頃	1年生	本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路	経済学部運営協議会	経済学部から依頼を受けた委託業者が経済学部運営協議会に報告し、入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、自己点検・評価、情報公開に活用
14	英語プレースメントテスト	AP	毎年	1年生	TOEIC Bridge テスト	経済学部教務委員会外国語分会	経済学部教務委員会外国語分会が入学時点の英語習熟度を把握し、習熟度別語学教育のクラス分けに活用

以上

令和8年4月1日

経済学部総合経済政策学科 アセスメントプラン

アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や卒業後の自己並びに社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミッション・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができると思っているか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

アセスメントの方法

No.	名称	対象	時期・頻度	学年	主な質問項目、内容等	実施責任部署	結果の活用方法
1	演習Ⅱループリック	DP3	毎年度末等	卒業学年	卒業論文・卒業研究等の学修成果	経済学部各教員及び経済学部学科会議	個々の教員が評価を行い、結果を経済学部で集約し、経済学部の授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
2	卒業アンケート（全国学生調査の最終年次）	DP1～4	毎年1回	卒業学年	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の満足度	経済学部運営協議会	IR・教育支援センターが経済学部運営協議会に報告し、経済学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
3	卒業生の進路状況	DP1～4	毎年1回	卒業学年	卒業生の進路（就職率、有力企業就職率、進学率）	経済学部就職支援委員会	キャリアセンターが経済学部就職支援委員会に報告し、就職支援の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
4	卒業生調査	DP1～4	毎年1回	卒業後1年以上経過の卒業生	現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへの意見・要望	経済学部運営協議会	IR・教育支援センターが経済学部運営協議会に報告し、経済学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用

5	就職先アンケート	DP1 ~4	毎年1回	卒業生就職先 ※数名の採用実績がある企業	在籍する卒業生の活躍から、近畿大学のDP達成度や強み・弱みなどをアンケート聴取	経済学部運営協議会	IR・教育支援センターが経済学部運営協議会に報告し、経済学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
6	学部長会談	CP/D P1~ 4	毎年1回	学生代表者	学修行動、授業・カリキュラム満足度 学生生活に関する要望等	経済学部運営協議会	経済学部で実施後に学生部で報告書を集約【学修行動、授業・カリキュラム満足度に関する意見】 IR・教育支援センターに連携し、その内容をもとに授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用 【学生生活に関する要望】 経済学部運営協議会にて内容を精査し、学修・生活環境の改善、自己点検・評価に活用
7	学修振り返りアンケート	CP	每学期1回	全学年	学修行動、授業の理解度、学修到達目標達成度	経済学部FD委員会	経済学部FD委員会が経済学部実施分の結果を集計し、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用。IR・教育支援センターが全学部分の結果をとりまとめ
8	成績不振学生、休退学の調査	CP	每学期1回 (成績不振)、随時 (休退学)	全学年	学業不振の状況 (GPA、修得単位数、留年者数)、休学者数、退学者数	経済学部各教員及び経済学部学生委員会	経済学部が経済学部学生に対する面談を実施し、修学及び学修支援、自学部のカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
9	全国学生調査 (2年次)	CP	毎年1回	2年生	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の印象	経済学部運営協議会	IR・教育支援センターが経済学部運営協議会に報告し、経済学部の授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
10	GPS-Academic (3年次を基本)	CP	毎年1回	原則3年生	学修行動、授業・カリキュラム満足度	経済学部運営協議会	経済学部から依頼を受けた委託業者が経済学部運営協議会に報告し、全学的なキャリア支援、経済学部の授業方法やカリキュラム改善、学修支援や低学年時における学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
11	学生生活実態調査	CP	隔年9~10月頃	全学年	学生生活、課外活動の経験、学修行動、大学に対する評価	経済学部運営協議会	学生部が経済学部運営協議会に報告し、経済学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用

12	入学試験	AP	毎年	入学志願者	大学での学修に必要な基礎学力	経済学部執行部会	入学センターが経済学部執行部会に報告し、入学試験の改善、入学者の現状把握に活用
13	GPS-Academic (1年次)	AP	毎年4~5月頃	1年生	本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路	経済学部運営協議会	経済学部から依頼を受けた委託業者が経済学部運営協議会に報告し、入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、自己点検・評価、情報公開に活用
14	英語プレースメントテスト	AP	毎年	1年生	TOEIC Bridge テスト	経済学部教務委員会外国語分会	経済学部教務委員会外国語分会が入学時点の英語習熟度を把握し、習熟度別語学教育のクラス分けに活用

以上